

禪とこころの会

入場無料

平成30年10月8日（月・祝）

12時開場

12時45分開会

会場 「駒澤大学記念講堂」（東京都世田谷区駒沢一―二三―一）

第一部 講演会「日本における達磨」

（駒澤大学禅ブランディング事業公開講演会）

第二部 いす坐禅

（坐禅指導 角田泰隆（駒澤大学仏教学部教授））

和太鼓実演

（和太鼓集団「鼓司」三重県曹洞宗青年会）



弘蔵玄祝画賛「達磨図」
（駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵）

展示 第52回全国青少年書道展上位入賞作品展示及び

駒澤大学禅ブランディング事業紹介コーナー等

合同企画 曹洞宗宗務庁・駒澤大学禅ブランディング事業チーム
お問い合わせ先 03-3454-5415（曹洞宗宗務庁教化部）

禪をきく会

プログラム

12時45分

開会

音楽法要

13時10分

第一部

「日本における達磨」

駒澤大学禅ブランディング事業 公開講演会

① 言い尽くせない達磨

駒澤大学仏教学部教授 飯塚大展

② 達磨図について

駒澤大学仏教学部教授 村松哲文

③ 江戸時代の達磨さん

駒澤大学文学部教授 近衛典子

第二部

いす坐禅 坐禅指導(駒澤大学仏教学部教授 角田泰隆)

15時30分

和太鼓集団「鼓司」

三重県曹洞宗青年会

16時00分

閉会

*都合により一部日程を変更する場合がございます。

協力団体「駒澤大学合唱団」

「駒澤大学電気美術研究部」

最寄り駅からのMAP



東急田園都市線「駒沢大学」駅下車。
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分。

駒澤大学校内MAP



◆「禪をきく会」× 駒澤大学 ZEN, KOMAZAWA, 1592

曹洞宗による「禪をきく会」は、広く「禪」に親んでもらうため一般の人達を対象とする、「禪」をテーマとした講演会であります。昨今では、坐禅体験として「いす坐禅」を取り入れたり、ステージの特性を活用して修行道場を再現した『法悦』や梅花流詠讃歌など、「禪」の魅力を多面的に発信して参りました。

この始まりは、1969年5月19日、東京は有楽町にあった「朝日講堂」(現・有楽町マリオン)からです。当時、山田靈林大本山永平寺副貫首が「世相を思い、道元禅師を思う」、桜井秀雄駒澤大学総務部長が「安らぎの日々」と題してそれぞれご講演があり、さらに、駒澤大学合唱団による仏教聖歌も披露されました。

その駒澤大学は、1592年、水道橋のもとに所在した曹洞宗寺院「吉祥寺」の中につくられた学林を淵源とします。「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を建学の理念とする駒澤大学では、2016年度より「『禪と心』研究の学際的国際的拠点づくりとブランド化事業」(平成28年度私立大学研究ブランディング事業採択)を展開中です。

今回の合同企画による協働は、「禪をきく会」、50年目への扉をここに開くものです。